

A Letter from the Career

Guidance Office No15 May20

今日のテーマは「1点の重み」です。私立大学の受験生は全国から万単位で集まってくる。昨年、近畿大学では14万5千人の受験生を集めました。そのような状況の下では、1点が合否を分けます。

1点が合否を分ける！

【関西大学商学部の2月入試】

受験者 6318 人、合格者 1155 人

450 点満点 合格最低点 286 点

290 点 30 人

289 点 26 人

288 点 28 人

287 点 28 人

286 点 30 人

合格最低点から

10 点以内の合格者 259 人

(合格者の 22%)

//////////合格最低ライン//////////

285 点 31 人

284 点 38 人

283 点 27 人

282 点 33 人

281 点 41 人

合格最低点から

10 点以内の不合格者 336 人



これは今年に関西大学商学部のデータです。これを見ると1点刻みに多くの受験生がひしめきあい、1点が合否を分けることが明らかです。さらに注目すべきことは、合格者の22%にあたる259名が、合格最低点から10点以内だったということです。大学入試では「1点の重み」が重要であることを、是非、知っておいてください。

